

関係者各位

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日午前、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモイが最高で2,640cells/mL、シャトネラ属が最高で2 cells/mL、ケラチウム属が最高で17 cells/mL確認されました。

カレニア・ミキモイが赤潮水塊を形成しています。特に、中学校前、光松及び大鹿ではカレニア・ミキモイの細胞数が漁業被害が想定される細胞密度を超えていますので、十分注意してください。また、海や養殖魚の状態に応じて、餌止めなど慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン(cells/mL)

調査地点	水深	水温(°C)	塩分	溶存酸素量(mg/L)	カレニア・ミキモイ	シャトネラ属	ケラチウム属
鳴無	2m	25.1	31.8	13.9	0	0	6
	5m	22.9	32.3	11.1	5	2	11
中学校前	2m	24.4	31.7	13.2	2	1	10
	5m	22.7	32.2	11.1	1	2	17
	8m	22.1	32.4	5.2	2,640	1	9
目ノクソ	2m	23.8	31.7	11.8	1	0	2
	7m	22.3	32.3	5.9	24	0	3
光松	2m	24.1	31.4	10.8	0	0	2
	5m	22.6	32.2	7.0	13	1	3
	8m	22.2	32.4	5.1	117	0	8
大鹿	2m	23.9	31.6	11.0	0	0	7
	5m	22.5	32.2	6.3	570	0	10
	8m	22.3	32.4	5.6	66	0	2

漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモイ: 数百～数千cells/mL (魚類等のへい死)
- ・シャトネラ属: 10～100cells/mL (魚類へい死)
- ・ケラチウム属: 100～cells/mL (餌食いの悪化)

